

# 釧路南ロータリークラブ会報

第30回 例会報告 2010.2.12 通算1336回

・点 鐘

工藤会長

・会 長 挨拶

・ロ - タ リ - ソ ン グ

「我等の生業」



ソングリーダー 雲津 義明会員



皆様こんにちは。いよいよ明日午前より、雪と氷の祭典バンクーバー冬季オリンピック大会が始まります。この第21回冬季五輪バンクーバー大会は12日の午後6時から開会式が始まります（日本時間では13日の午前11時になっております）日本との時差が17時間との事で、競技は日本時間の深夜になり競技によってはliveで見るのは辛いかもしれません。昨年10月30日にブリティッシュコロンビア州の州都ビクトリアをスタートした聖火は約3ヶ月にわたり史上最長となる約4万5000キロのリレーをしたと言われておりました。いよいよ聖火台への点火の時が迫りました。

また、今大会は2006年のトリノ大会の80を上回る史上最多の82ヶ国の地域が参加となっております。その中で日本選手は94人の参加です。選手の皆さんには頑張って頂き一個でも多くメダルを取って欲しいと願っております。

私としてはフィギュアスケート・スピードスケート・スキージャンプなど楽しみな競技です。さて、本日のプログラムは世界理解月間となっております。後ほど佐野委員長と花田委員長スピーチ宜しくお願い致します。

・入 会 記 念 祝

佐藤 玄史会員 H 9. 2. 14 (13年目)

・誕 生 祝

小野 一明会員 S 4. 2. 18 (81歳)



・幹事報告 木内副会長



- \* 本日、長倉幹事は出張のため、欠席です。
- \* 第7分区葎本ガバナー補佐、第8分区松隈ガバナー補佐より IM の案内を拝受しております。日時は、3月13日(土)14:00～19:30 全日空ホテル、ホストクラブは釧路ベイロータリークラブ・別海ロータリークラブです。テーマは「職業奉仕を見直そう」です。開催にあたり、各クラブ1名の代表スピーチを選出しなければなりません。テーマは「私にとっての職業奉仕」となります。また、懇親会では、クラブ対抗仮装カラオケ大会もありますので、こちらも選出しなければなりません。我こそはという方がいらっしゃいましたら、お申し付けください。
- \* 地区協議会スケジュール案がきております。4月17日、18日の予定です。正式には追ってご案内いたします。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

佐藤 玄史会員 入会記念祝として  
小野 一明会員 誕生祝として

出席委員会

会員25名 11名出席 44%

・本日のプログラム

「世界理解月間に因んで」

担当 国際奉仕委員会

国際奉仕委員会 委員長 佐野 実



2月は国際奉仕月間でロータリー誕生の歴史や国際奉仕についてのスピーチがあります。今回も恒例に従い同じ話をさせて頂きたいと思います。1905年当時のアメリカは、経済恐慌で人の心はすさみ、犯罪は巷にみちているというありさまでした。これを憂えたシカゴの一青年弁護士ポールP・ハリスは、よい社会をつくるためには、人の和を図り、世の中に奉仕する気持ちを多くの人々が持つようになる事が大切だと考え、ポール・ハリス自身それ以前数年間、想を練り、まず石炭商シルベスタ・シール、鋳山技師ガスターバス・ローア、洋服商ハイムラ・ショーレーの三人の友人と語り、2月23日、この理想をひろく人々に呼びかけるための第1回の会合を持つに至りました。はじめ数ヶ月は非公式にブースター・クラブ(ブースターとは向上させるの意)と呼んでいましたが、されに印刷業界のハリー・ラッグルズをはじめ、他の友人が加わってロータリークラブの誕生となりました。ロータリーとは、集会を順番に、会員が各自の事務所で持ち回って開くことから名付けられました。2月23日は、初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。また、2月23日の創立記念日は、世界理

解と平和の日と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。さらに2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。各クラブは、「世界理解月間」に理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されていますが、具体的には、世界理解月間は世界のロータリアンが国際奉仕プロジェクトについて考える時だといわれます。わが国最初のロータリークラブは、1920年(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして国際ロータリーに加盟が承認されました。日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織を作り、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。その後、日本のロータリーは、第二次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に屈力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,301、会員数92,879人(2009年11月末現在)となっています。

#### ロータリー財団 委員長 花田 善廣



#### 【財団への寄付】

財団への寄付は、大きく分けて次の三種類になる。

##### 1. 年次寄付

年次プログラム基金への寄付。用途を決めずに寄付して、3年後にその寄付金をプログラムに使う。全額が奉仕プロジェクトに活用される。年次寄付の3年間の投資収益は、プログラムの運営、寄付推進、一般運営費に充てられる。

##### 2. 恒久基金寄付

元金は使わず基金として積立てられる。投資収益のみを財団プログラムに使う。その目標は、最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたは、プログラムの格調を容易にしようとするものである。

##### 3. 用途指定寄付

使い道を決めて寄付するもの。ポリオ・プラスやポリオ・プラス・パートナー、世界フェロシップ等への寄付。以上、財団への寄付は2月中迄にぜひ会員の皆様にご協力お願い致します。



#### ・ 次回のプログラム

2月19日(金)

「 職業紹介例会 」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：職業奉仕委員会

・ 点 鐘 工藤会長

今週の会報担当：原田真則会員